

講義名	対)専門基礎演習(人)			
担当教員	高田 宏			
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要 1回生では夢の種を探し、見つけることを目的に「自己発見とキャリア開発」を履修してもらいました。 2回生前期開講の、当科目では、夢の種を育てるための基礎を築くことを目標とした演習形式の授業です。 観光・ホテルを中心とした研究、グループワーク、フィールドワーク、発表、ディスカッションを通し、観光・ホテルの興味を深めるとともに、論理思考やコミュニケーション能力並びにプレゼンテーション技術の向上を計ります。

到達目標 ・観光・ホテルを中心とした演習を通し論理思考能力とコミュニケーション能力が向上する。 ・プレゼンテーションスキル（発表方法、PowerPointの作成技術）が向上する。
--

提出課題 随時、個人・グループワークでの課題の提出を求めます。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック フィードバックは、次の講義冒頭で行います。

評価の基準 課題提出状況及び記述内容、発表内容、授業への積極性、チームワークなどを総合的に判断します。 課題提出が10回以下の場合、単位認定審査の対象になりません。

履修にあたっての注意・助言他 この科目は、協力しあって学習し、活動することになるのでチームワークが大切です。 外部の人たちと連携して活動が展開されるので、社会人としての常識を求めます。 現地での活動が予定されていることから、交通費程度の実費が発生します。 現地での活動は特殊なスケジュールとなるので、日程を十分に理解した上で履修してください。 課題提出方法は回によって異なりますのでその都度指示します。 その際Google Formsを使う場合があります。 課題提出には期限があります。期限を過ぎた提出は認めません。
--

教科書 ・使用しない。					
-----------------------	--	--	--	--	--

プリント資料及び参考文献 必要に応じて案内します。

授業計画 1. ガイダンス 2. 第一回個人プレゼンテーション+ディスカッション 3. グループディスカッション「ホスピタリティを考える」 4. ホテルを調べろ 5. 第二回個人プレゼンテーション+ディスカッション(2回に分けて実施-1) 6. 第二回個人プレゼンテーション+ディスカッション(2回に分けて実施-2) 7. 座学 ホテル 8. 座学 神戸観光 9. ホテル見学のレクチャー 10. グループワーク ホテル宿泊プランを作る-1 11. グループワーク ホテル宿泊プランを作る-2 12. ホテル宿泊プラン発表会 13. ホテル見学・発表を終えて(個人発表) 14. (休講) 15. まとめ 7-12までは蓮田先生のクラスと合同開催の予定 ホテル見学のセミナーを行うがホテル側の都合により、実施日が上記と異なる可能性あり、また時間も火曜1限とならない場合がある。協力いただくホテルは現在調整中。詳細は1回目のガイダンスで知らせる。 ホテル見学のセミナーは3時間前後のため休講を1回入れる。
--

【注意事項】 ・受講生が一時的に通学困難となった場合は、通学困難期間に限りZOOMでのライブ配信を受講してください。ライブ配信に参加できない事情を教員が認めた場合、同等レベルのカリキュラムを提供し対応します。 ・通学困難時期終了後、全面的なオンデマンド授業への移行はないものとします。

授業形態(アクティブ・ラーニング)	
<input type="checkbox"/> ア: PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="checkbox"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ: グループワーク
<input type="checkbox"/> オ: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 ホスピタリティ産業を学ぶ学生は好奇心を持って欲しい。演習で取り上げる課題についてだけでなく、そこから派生する事柄について調べることが重要です。学生にとっては初めて聴く用語が多いので必ず予習・復習をしてください。 ・予習、発表のための課題提出を行う。(各回 120分) ・復習 各回120分
--

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 到達目標を達成することで共通OPに貢献できる。ホスピタリティ、ホテル、観光について議論・研究することによって、思考力、コミュニケーション力、提案力など観光産業への就業につながる資質を養い、高い能力を発揮できる人材をつくる。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 Power Point を使った個人発表、グループワークでの共同研究・発表、発表を基にしたディスカッションを行います。
--

実務経験の有無及び活用 実務経験あり ・1981年 株式会社ロイヤルホテル入社。(2018年3月 定年退職) ・「リーガロイヤルホテル東京」「都市センターホテル」「登大路ホテル奈良」と3ホテルの総支配人、ホテル開発部門、マーケティング部門を歴任してきており、その実務経験を活用しホテル・観光の基礎理解のための手法を講義する。
--

備考 現地での活動を予定するため、変則して授業が発生する可能性があること、また必要に応じて交通費など実費負担が発生します。 【注意事項】 ・受講生が一時的に通学困難となった場合は、通学困難期間に限りZOOMでのライブ配信を受講してください。ライブ配信に参加できない事情を教員が認めた場合、同等レベルのカリキュラムを提供し対応します。 ・通学困難時期終了後、全面的なオンデマンド授業への移行はないものとします。
--